

## 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標			頁
						H28	H29	H30見込	
第1章 暮らしを支える体制と支援の充実									
1	1	地域包括支援センターの業務	関係機関と連携をとりながら、高齢者に関する各種相談への対応、介護予防事業の紹介など、様々な支援を行った。 関係機関の連携促進のために地域福祉連携事業、多職種交流会等を行った。	-	総合相談延件数	40,898	39,755	42,000	31
					実態把握延件数	9,569	8,563	8,300	
					虐待防止相談実件数	159	183	200	
					成年後見相談延件数	64	84	70	
					ケアマネ支援延件数	667	574	500	
					介護予防ケアマネジメント実人数	-	1,227	1,562	
					関係機関連携事業関連件数	11,551	10,701	11,000	
2	1	安心連絡システム	ひとり暮らしの高齢者が安心して生活できるよう実施した。	-	貸与台数	741	743	743	34
					吸引器貸与台数	56	65	65	
2	2	日常生活用具の貸与・給付	在宅寝たきり高齢者等が安心して在宅生活が送れるよう実施した。	-	電磁調理器給付台数	0	2	2	34
					貸与台数	210	274	274	
2	2	車いすの貸与	一時的に車いすが必要となった方に貸出しを行った。	-	貸与台数	210	274	274	35
2	3	養護老人ホーム短期入所	自宅で生活することが困難となった人が、一時的に養護老人ホームに入所できるよう実施した。	-	延入所日数	474	536	500	35
2	4	高齢者の権利擁護及び財産等の保全・活用	長岡市社会福祉協議会の権利擁護支援課は、法人後見の実施、相談窓口の設置、広報・啓発等に取り組んだ。 また、関係機関と連携をとりながら、高齢者虐待防止の支援、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止の啓発に取り組んだ。	-	-	-	-	-	36

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標			頁
						H28	H29	H30見込	
3	2	在宅介護者への支援の充実	在宅介護者を応援するため、在宅で介護を行う同居家族に支援金を支給し、在宅介護者技術の向上・情報交換等研修会を行った。	-	介護者支援金支給決定者数	5,594	5,601	5,601	40
					介護研修会実施回数	23	22	14	
					介護研修会参加者数	331	299	252	
4	1	生活援助員(ライフサポートアドバイザー)派遣	高齢者が自立した在宅生活ができるよう、対象60世帯に生活援助員を派遣し、入居者を支援した。	-	対象世帯数	60	60	60	41
					生活援助員数	3	3	3	
4	2	高齢者住宅改造費補助	介護保険制度の住宅改修費への上乘せや、市独自の住宅改造項目への補助によって在宅高齢者等の生活環境が安全で安心となるよう支援した。	-	利用者数	41	33	48	41
4	3	ケアハウス	ケアハウスに対する積極的かつ緊急的な整備要望はないため、現状を維持した。	-	箇所数累計	8	8	8	42
					定員	271	271	271	
4	4	養護老人ホーム	入所希望者は増加しておらず、現状を維持する。	-	箇所数累計	1	1	1	42
					定員	150	150	150	
4	5	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	住宅型有料老人ホーム1か所15名が廃止、サービス付き高齢者向け住宅1か所50名が開設された。	-	別紙P10参照			43	
4	6	生活支援ハウス	低所得者層の単身者等に住まいを提供できることから、現状を維持した。	-	箇所数累計	2	2	2	45
					定員	24	24	24	
5	1	在宅医療と介護等の連携に向けた顔の見える関係づくり	地域包括ケア推進協議会や、地域別の多職種交流会、多職種での勉強会等を開催し、顔の見える関係づくりを行った。	-	-	-	-	46	

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標			頁
						H28	H29	H30見込	
	5	2	ICT情報連携システム「フェニックスネット」の推進	参加機関の拡大に向け、医師会と連携して医療・介護関係者への説明会を開催した。7月に対象者を「医療・介護を受けている人」から「全市民」に拡大した。	-	-	-	-	46
	6	1	関係者の連携による生活支援体制の充実	社会福祉協議会と連携し、ニーズに応じた生活支援サービスを提供する仕組みのコーディネーターを配置するとともに、全市的な生活支援体制を協議する「関係者ネットワーク会議」、各地域ごとに地域課題を地域住民とともに話し合う「地域福祉懇談会」を開催した。	-	-	-	-	47

## 第2章 認知症施策の推進

	1	2	認知症の理解促進	認知症の基礎知識を学ぶ認知症サポーター養成講座を行っているほか、講師役であるキャラバン・メイトの活動を支援した。	-	認知症サポーター養成講座受講延人数	2,499	2,056	2,800	48
	2	1	認知症の人と家族が交流できる場の充実	認知症のご本人やご家族など誰でも気軽に参加でき、身近なリフレッシュの場、相談の場である「オレンジカフェ」を市内15か所で運営した。	-	-	-	-	-	50
	2	2	家族の介護負担の軽減と外出支援	認知症高齢者を介護する家族の介護負担を軽減するため、「やすらぎ支援員」による訪問見守り事業を行った。	-	やすらぎ支援員利用実人数	38	38	35	50
	3	-	認知症の予防と早期対応の推進	地域で住民が主体的に認知症予防に取り組めるように教室や講座を実施した。タッチパネルの体験会や簡易チェックサイトの開設のほか、「認知症初期集中支援チーム」の活動を継続して行った。	-	-	-	-	-	52

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標			頁	
						H28	H29	H30見込		
第3章 持続可能な介護保険制度の推進と適正な運営										
	2	-	介護保険事業費等の見込み	計画値に対し、標準給付費で96.3%の実績を見込んでおり、財政的に安定した運営状況で推移している。	-	別紙P11～P17参照			76	
	3	1	介護給付適正化事業の推進	給付実績情報を活用し、ケアプランチェックで事業者と協働点検することにより、ケアプランや福祉用具貸与が適正であるかを確認することができた。 また、住宅改修の現地確認を行うことで不適正な事例を確認することができた。	-	要介護認定チェック数	8,577	8,125	8,100	89
						ケアプランの点検数	67	50	50	
						住宅改修等の点検数	1	4	4	
						縦覧点検数	5,094	4,549	5,381	
						医療情報との突合数	335	268	300	
						給付実績の活用	760	1,402	3,600	
	3	2	介護相談員の派遣	介護保険制度に精通し、専門的知識を持った介護相談員を施設等に派遣し、介護サービス利用者の疑問や不満等に対応し、あわせてサービスの質的向上を図った。	-	派遣施設数	131	190	190	90
						相談員数	6	6	6	
	4	-	介護基盤の維持・確保	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所2か所、認知症対応型デイサービスセンター(共用型)2か所9名、小規模多機能型居宅介護事業所1か所29名、認知症高齢者グループホーム1か所18名を整備した。また、認知症高齢者グループホーム及び特別養護老人ホームの定員を増床した。	-	別紙P18参照			95	
第4章 はつらつとした暮らしと社会参加の促進										
	1	3	スポーツ・レクリエーション活動の推進	各種大会、教室を継続して開催し、高齢者が安全で効果的なスポーツを行う機会を提供することができた。また、高齢者の多様なニーズに応じたスポーツ活動を実施することで、高齢者の健康維持や社会的交流を図ることができた。	-	高齢者親善ペタンク大会参加者数	73	中止	77	100
						高齢者スポーツ大会参加者数	269	221	223	
						地域交流スポーツ大会参加者数	315	312	289	
						マスターズスポーツ教室参加者数	362	367	230	
	1	4	老人クラブ活動の支援	活動支援等を行っているが、解散等により減少する見込みである。	-	クラブ数	271	258	237	101
						会員数	14,198	13,292	11,977	

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標			頁	
						H28	H29	H30見込		
	2	1	シルバー人材センターの充実支援	会員の活動を積極的に紹介し、シルバー人材センターの役割を多くの市民にPRした。受注件数・会員数は前年度より減少しているが、売上は前年度より増加した。	-	会員数	2,969	2,925	3,040	104
							受託件数	17,629	15,456	
2	2	2	高年齢者の雇用促進	ハローワーク長岡など関係機関と連携し、求職者の雇用促進や、企業における多様な人材活用、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進した。	-	新規求職件数	1,830	1,765	-	105
						有効求職件数	7,256	7,191	-	
						有効求人件数	9,190	10,514	-	
						有効求人倍率	1.27	1.46	-	
						紹介件数	1,714	1,573	-	
						紹介率	93.7	89.1	-	
						就職件数	510	440	-	
						就職率	27.9	24.9	-	
第5章 健康づくりと介護予防の強化・推進										
1	1	1	多世代健康まちづくり事業の推進	健康クラブの会員は60歳以降が6割を占めている。セミナー参加者は65歳以上が約7割を占めており、高齢期の健康づくり、介護予防に寄与していると考えられる。	-	健康クラブ会員数	2,358	2,849	3,129	106
						地域セミナー実施地域数	19	16	13	
						地域セミナー延参加人数	3,235	2,505	2,270	
1	2	健康診査の充実	健康カレンダーの改善、地域担当保健師による健診日に係る回覧物の作成等、啓発方法の改善や未受診者へ直接電話連絡による受診勧奨等を行い、受診率向上に努めた。	-	別紙P19参照			108		
1	2	健康教育の充実	CKD(慢性腎臓病)の重症化予防、糖尿病、高血圧、がん等の生活習慣病予防、骨粗しょう症予防を目的に取り組んだ。	-	集団健康教育実施回数	492	506	500	109	
					集団健康教育参加者数	7,759	7,463	7,400		
1	2	健康相談の充実	健康相談の参加人数は増加している。個別の相談対応により、健康に対する不安の解消や、生活習慣改善の動機づけになっていると考えられる。	-	総合健康相談回数	126	141	127	109	
					総合健康相談人数	904	989	990		
					こころの健康相談回数	56	48	58		
					こころの健康相談人数(65歳以上)	14	20	35		
1	2	訪問指導の実施	生活習慣病の重症化予防を目的に、糖尿病性腎症2期3期の生活状況把握、健診異常値放置者・受療中断者の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨に努めた。	-	訪問延人数	850	1,253	1,100	110	

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標			頁	
						H28	H29	H30見込		
1	2		はり・きゅう・マッサージ施術費の助成	利用率については、平成29年度と同程度となる見込みである。	-	交付人数	578	549	540	111
						交付枚数	2,312	2,196	2,160	
						利用枚数	1,511	1,450	1,426	
						利用率	65.4	66.0	66.0	
2	1		介護予防・生活支援サービス事業の推進：通所型サービス	要支援1・2又は事業対象者を対象に、従来のデイサービスの他、運動、認知症予防、口腔機能向上等の介護予防に取り組み、生活機能の向上をはかる多様なサービスを実施している。	-	介護予防通所サービス利用延人数	-	4,003	9,860	112
						くらし元気アップ事業利用実人数	-	620	561	
						短期集中レベルアップ事業利用実人数	-	44	71	
						筋力向上トレーニング事業利用実人数	-	33	51	
2	1		介護予防・生活支援サービス事業の推進：訪問型サービス	要支援1・2又は事業対象者を対象に、従来のホームヘルプサービスの他に、従来のヘルプでは対応出来なかった部分のサポートをする住民主体のサービスを実施している。	-	介護予防訪問サービス利用延人数	-	1,675	4,114	114
						生活サポート事業(委託分)利用実人数	-	18	93	
						生活サポート事業(補助分)実施団体数	-	3	3	
2	2		一般介護予防事業の推進	地域において、介護予防の取り組みが主体的に実施されるよう、介護予防の必要性や方法の理解を促すとともに介護予防活動を地域で広く実施できるよう、通いの場の拡充を進めている。	-	-	-	-	116	

#### 第6章 地域で支え合う体制の構築

1	4		地域福祉・在宅福祉サービス(ボランティア銀行)	地域における支えあいの基盤が弱まる中で、協力会員の確保に向け、活動システムの見直しに着手した。	-	延利用者数	767	751	750	121
						年間総利用回数	2,809	2,531	2,500	
1	4		福祉送迎サービス	活動未実施、休止している地区を中心に活動周知と協力のお願いを行った結果、活動未実施の2地区が新たに活動を開始した。	-	延利用者数	3,770	3,331	3,000	121
						年間総利用回数	3,707	3,301	3,000	
1	4		小地域ネットワーク	地域における日ごろの声かけや見守りの大切さを、研修会や地域福祉懇談会にて改めて周知した。	-	対象世帯数	14,087	14,539	15,000	122
						利用世帯数	611	536	530	
1	4		ふれあい型食事サービス	地域懇談会等での周知や食事サービス事業研修を実施しました。実施回数を増やす検討やボランティア増員に取り組む地区が複数でてきた。	-	利用者数	2,444	2,384	2,280	123
						年間総食数	74,665	71,427	70,700	

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標	関連指標			頁
							H28	H29	H30見込	
	2	1	福祉活動の拠点「社会福祉センターモシア」の活用	ボランティアセンターを中心としたイベント等の開催をとおり、団体の活動紹介や活動体験の場を提供した。	-	利用者数	22,124	67,555	76,810	125
	3	1	福祉教育の推進	小学3年生を対象とした福祉読本「ともしび」について、平成27年度の全面改訂から、活用調査の結果を踏まえて追加・修正を行い、小学校等に配布した。	-	-	-	-	-	126
	3	2	広報・啓発活動の推進	ともしび運動ポスターの巡回展示やリーフレット・ポスターの配布を行うほか、「すこやか・ともしびまつり」を開催し25周年記念イベントを行うなど、ともしび運動にまつわる幅広い広報・啓発活動を行った。	-	すこやかともしびまつり入場者数	17,000	21,500	18,500	127
	3	3	ボランティア活動の促進・支援	市民協働センターでは、市民活動に関する相談616件、助成43件などの支援を行った(H30.12.末現在)。地域では、地区福祉会等と連携し、配食やボランティア銀行などの地域福祉活動(登録者約3,150人)が展開された。ボランティアセンターは、専門職員によるきめ細かな相談対応を行ったほか、福祉分野に限らず多分野のボランティア情報の提供に努めるなど支援体制を強化した。	-	-	-	-	-	128

章	節	項	事業等名	H30の取組・成果	H31以降の取組・方向性 (次年度調査時に記入)	関連指標			頁
						H28	H29	H30見込	
第7章 やさしい生活環境の整備									
1	3	利用しやすい公共交通機関の整備促進	町内会等が設置するバス待合所の整備事業に対し、平成30年度は2件補助金交付し、バス利用者の利便性向上が図られた。	-	バス待合所整備件数	2	1	0	132
					バス待合所整備補助件数	4	0	2	
					低床式バス台数	69	76	83	
2	-	住みやすい住宅・住環境づくり	公営住宅長寿命化計画に基づき、既設の公営住宅の改修工事を実施した。	-	-	-	-	134	
3	1	災害時の安全確保	地域で行う防災活動の指導、助言を積極的に行うことで、自主防災会の育成及び結成を支援し、新たに1つの自主防災会が結成されました。「中越市民防災安全大学」では、54名を中越市民防災安全士として認定した。また、自主防災会等の訓練に、72回152人の安全士を派遣した。引き続き、自主防災会の結成と活動を支援するとともに、中越市民防災安全大学を開講し、地域の防災リーダーの育成を図る。また、自主防災会等の訓練へ安全士を積極的に派遣し、さらなる地域防災力の強化を図る。	-	自主防災会結成率	91.9	92.0	91.7	135
					活動実施率	82.0	79.2	79.3	
					中越市民防災安全士延人数	541	584	638	
3	2	交通安全対策等の推進	警察などの交通安全関係機関・団体と連携し、四季の交通安全運動などを通じて高齢者宅を家庭訪問し、反射材の配付等を行った。	-	交通事故死者数	17	8	4	136
					うち、高齢者数	12	8	1	
3	3	火災予防運動の推進	65歳以上の方がのみが居住する世帯に対し、火災予防を訴えるとともに住宅用火災警報器の設置調査及び点検、未設置世帯に対して設置指導を行った。未設置等の世帯に対しては、指導書を交付し、改修状況の追跡を行った。	-	高齢者世帯 訪問防火指導世帯数	1,610	1,605	1,331	137